

J A全中くら高発077号  
平成30年9月3日

各農業協同組合 御中  
都道府県農業協同組合中央会 御中  
都道府県厚生農業協同組合連合会 御中

全国農業協同組合中央会  
J A高齢者福祉ネットワーク

## J A介護保険事業

### 居宅介護支援事業運営研究会の開催について（案内）

介護保険事業の持続的運営と発展に資するため、標記事業運営研究会を別添開催要領にもとづき下記のとおり開催いたします。

全中事業管理システムがJ Aに導入されていない場合等、必要に応じ、貴都道府県内の各J A・協同会社、J A関連の社会福祉法人等に対しご案内いただきますよう、お願いいたします。

なお、参加申込みについては、平成30年10月1日(月)までに全中事業管理システム（研修会システム）により入力していただきますようお願いいたします。

※事業管理システムがJ Aに導入されていない場合または連合会については都道府県中央会で代行入力をお願いします。

#### 記

#### 1. 参加対象者

居宅介護支援専門員（特に主任居宅介護支援専門員）およびJ A本体管理者等  
（可能な限り居宅介護支援専門員とJ A本体管理者の2人でご参加ください）

#### 2. 目的・内容

<主な研究内容>

- （1）平成30年度制度改定の内容（居宅介護支援事業を中心に）
- （2）今後の居宅介護支援専門員の役割について
- （3）自立支援型ケアプランの作成

#### 3. 開催日・場所

開催日	開催場所（会場）
平成30年10月12日（金） 9:30～17:00	「コープビル」5階 第1会議室 東京都千代田区内神田1-1-21

#### 4. 開催要領

別添のとおり。

以上

# 平成30年度 J A 介護保険事業 居宅介護支援事業研究会開催要領 ～自立支援型のケアプランの考え方と実践～

## 1. 目的

平成30年度の制度改正では、自立支援・重度化防止に資する質の高い介護サービスの実現に向けた内容が盛り込まれている。J Aの介護事業は、訪問介護・通所介護が中心ではあるが、この両軸のサービス提供の考え方も、これまでのお世話型サービス、レスパイト型サービスからの転換が強く求められている内容であり、介護職員の意識改革を含めた職場、サービス内容の改革が断行されなければ生き残れない状況となっている。

こうした流れの中で居宅介護支援事業においても利用者本位の生活機能回復に重点化した自立支援ケアプランへの転換が求められており、特に医療との連携の促進（入退院時の情報提供、平時の口腔状態や服薬情報の提供等）がこれまでも増して強く求められている。

本研究会はこうした政策の流れを理解するとともに、ケアプラン作成演習を通して自立支援型のケアプランの考え方を理解し実務に資するために開催する。

## 2. 対象者

居宅介護支援専門員（特に主任居宅介護支援専門員）およびJ A本体管理者等  
（可能な限りJ A本体管理者と居宅介護支援専門員との2人でご参加ください）

## 3. 学習目標

- （1）平成30年度制度改定の内容（居宅介護支援事業を中心に）を理解する。
  - （2）今後の居宅介護支援専門員の役割について理解する
  - （3）自立支援型ケアプランの考え方を理解し作成することができる。
- （※ J A本体の管理者にはケアプランの作成までは求めない）

## 4. 研修内容

- （1）平成30年度制度改定の内容（居宅介護支援事業を中心に）
- （2）今後の居宅介護支援専門員の役割について
- （3）自立支援型ケアプランの作成

## 5. 開催日・会場

開催日	開催場所（会場）
平成30年10月12日（金） 9:30～17:00	「コープビル」5階 第1会議室 東京都千代田区内神田1-1-21 TEL.03-3294-3821（別添案内図参照）

※1 定員は40名程度とします。

※2 受付開始は9時00分からです。

## 6. 日 程 (別添のとおり)

## 7. 参加負担金

参加費	J A高齢者福祉ネットワーク会員	17,000円	別途懇親会費5,000円
	上記以外 (会員以外)	22,000円	別途懇親会費5,000円

※ 参加費は、資料・会場・昼食代・外部講師料で、消費税込の額です。

※ 上記には宿泊費は含まれていません。各自でご手配ください。本会での斡旋等はいりません。

※ 研究会終了後、参加者所属団体の口座から引落決済させていただきます。ただし、研修会システムがJ Aに導入されていない場合または連合会については都道府県中央会の口座から引落決済させていただきます。

## 8. 申込期限

平成30年10月1日 (月)

ただし、先着順とし、募集定員に達し次第、受付は終了させていただきます。

※参加申込み、参加予定の取消しともに、上記の申込期限までに全中事業管理システム (研修会システム) により入力してください。なお、全中事業管理システムがJ Aに導入されていない場合は、都道府県中央会で代行入力をお願いします。

## 9. 事前課題

研究会において事例に基づきグループでケアプランを作成します。研究会参加者には、ケアプラン作成にあたって下記事前課題資料をEメールにて送付します。研修会システム登録時に送付先のメールアドレスをご登録ください。

事前課題資料を読み込みケアプランについてのご自身の意見を整理したうえで参加してください。

<事前課題資料>

- ・事例の概要
- ・アセスメント表
- ・医療情報
- ・課題整理総括表

## 10. 研修会事務局

J A全中 J A支援部 くらし・高齢者対策課  
(J A高齢者福祉ネットワーク事務局) 担当：川畑

TEL：03-6665-6241、FAX：03-3217-5073

E-Mail：[kourei.s@zenchu-ja.or.jp](mailto:kourei.s@zenchu-ja.or.jp)

以上

## 平成30年度 JA介護保険事業居宅介護支援事業研究会

平成30年10月12日（金）

9時30分～17時00分

場所：東京・コープビル

時 間	内 容
9:00～	受 付
9:30～10:00	開会挨拶 研修事項Ⅰ 情勢報告（講義） 「JA介護保険事業を巡る情勢 ～居宅介護支援事業を中心に～」 <span style="float: right;">（JA全中 JA高齢者福祉ネットワーク）</span>
10:00～11:00	研修事項Ⅱ（講義） 「今後の介護支援専門員に求められる役割」 <span style="float: right;">今瀬俊彦氏（JA高齢者福祉ネットワーク スーパーバイザー）</span>
11:00～11:10	休 憩
11:10～12:10	研修事項Ⅲ－1（講義） 「自立支援型ケアプランの作成の視点と展開」 <span style="float: right;">荒木富美子氏 （JA高岡福祉事業センターもえぎの里センター長・主任介護支援専門員・富山 県介護支援専門員研修講師）</span>
12:10～13:00	休 憩（昼 食）
13:00～15:40	研修事項Ⅲ－2（演習 グループワーク） ○自己紹介（10分） ○事例（利用者情報）についての質問や確認（10分） 利用者の全体像を把握する ○利用者理解（10分） 利用者の思い・人となりについてグループで話し合う ○アセスメント（50分） 課題整理総括表を活用し、生活全般の解決すべき課題（ニーズ）をグループで話し合う ・利用者の困りごとや生活するうえでの支障の原因や背景を捉えているか ・利用者の思いや希望は捉えているか ・改善の見通しはどうか ・真のニーズは何か。優先順位はどうか。 ・グループで話し合ったニーズを発表する ○ケアプラン作成（70分） ・その人らしい目標やモニタリングしやすい目標を検討する ・目標達成のためにどのようなケアをサービス事業者に期待するか

	<p>○発表準備（10分） （適宜休憩）</p> <p style="text-align: right;">荒木富美子氏</p> <p>（J A高岡福祉事業センターもえぎの里センター長・主任介護支援専門員・富山県介護支援専門員研修講師）</p>
15:40～16:40	<p>研修事項Ⅲ－3（演習 グループワーク）</p> <p>○グループ発表 ・講評（60分）</p> <p style="text-align: right;">荒木富美子氏</p> <p>（J A高岡福祉事業センターもえぎの里センター長・主任介護支援専門員・富山県介護支援専門員研修講師）</p>
16:40～17:00	<p>研修事項Ⅳ（振り返り・まとめ）</p> <p>全体を振り返りポイントについて講義</p> <p style="text-align: right;">今瀬俊彦氏（J A高齢者福祉ネットワーク スーパーバイザー）</p>
17:00	<p>挨拶・閉会</p> <p style="text-align: right;">（J A全中 J A高齢者福祉ネットワーク）</p>
17:30～19:30	交流会

※ 時間・内容は現時点の予定（仮題）であり、変更される場合もありますので、ご承知置きください。

※ 研修事項Ⅲの演習事例として示す資料

- ・事例の概要
- ・アセスメント表
- ・医療情報
- ・課題整理総括表